

なす からすやま

広報

No.152

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



特集 第7期介護保険事業計画がスタート…	2
スポーツ少年団を紹介します！……………	6
那須烏山市議会議員選挙 投開票結果……	8
春の交通安全県民総ぐるみ運動……………	10
山あげ会館再オープン……………	12
入学・入園式……………	14
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム…	15
まちのわだい……………	16
インフォメーション……………	18
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより…	20

2018

5
May

小学校へGO!! (4月6日 清水川せせらぎ公園)

那須烏山市高齢者福祉計画及び 第7期介護保険事業計画がスタート

高齢者が安心して暮らせる 地域社会をめざして

平成30年4月から、市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画がスタートしました。第6期介護保険事業計画の基本理念「安心して暮らせる思いやりのまちづくり」を継承し、これからさらに進展する高齢者社会に対応するため、高齢者の誰もが可能な限り住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるようにサービスを充実させることとしています。

今月号では、介護保険事業計画の概要と改正された制度などについて紹介します。



介護保険制度 3年ごとに見直し

平成12年度に始まった介護保険制度は、今年で19年目となります。この制度は、介護保険料や国・県・市町村の負担金などを財源として、介護が必要な人や家族の負担を社会全体で支え、介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるように作られたものです。

法律で3年ごとに事業計画を見直すことになっていることから、市では、新たに平成30年度から32年度までの計画を策定しました。

高齢者人口の増加： 将来を見据えた計画の策定

日本の総人口は、総務省の推計によると平成29年9月時点で1億2671万人と前年に比べ21万人減少しているのに対し、65歳以上の高齢者数は、3514万人で前年に比べて57万人増加しています。高齢化率は過去最高の27・7%を更新し、90歳以上の人口が初めて200万人を超えるなど、着実に高齢社会が進展しています。

また、将来人口の見直しとして、2025年には団塊の世代すべてが75歳以上となるほか、2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上になることから、今後更なる高齢社会の進展を迎えることとなります。

このような状況のなか、本市では平成7年以降、本格的に人口減少が進んでいる一方で、高齢者人口は一貫して増加し続け、平成29年10月には9242人、高齢化率35・3%と、同時点での国や栃木県の高齢化率を大きく上回っています。さらに今後の人口の見直しでも人口減少および高齢者数の増加は当面続くものと予測されています。また、近年、経済情勢や地域社会など高齢者を取り巻く環境が大きく変化してきたため、高齢者の意識やライフスタイルが変わりつつあります。こうした変化を踏まえ、本市でも第6期介護保険事業計画(平成27年度～29年度)を策定し、高齢者の誰もが可能な限り住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう「介護・予防・医療・生活支援・住まい」のサービスを一体化して提供していく「地域包括ケアシステムの構築」に向けた取り組みを行ってきました。

これに引き続き、第7期計画では、これまでの高齢者施策、介護保険事業の実績を分析・評価するとともに、2025年には団塊の世代が後期高齢者になることを踏まえ、中長期的展望のもとに計画を策定しました。

第7期介護保険事業計画 主な事業

第7期計画は、2025年に向け、地域包括ケアシステム実現のための方



向性を継承しつつ、介護サービス・給付・保険料の水準を推計して作成し、中長期的な視野に立った施策の展開を行っていきます。

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「在宅医療と介護の連携の推進」、高齢者が地域で安心して在宅生活を継続できるような「生活支援サービス」の整備、「認知症の高齢者やその家族に早期に関われるような支援体制を構築する」「認知症初期集中支援の推進」に重点をおいて進めていくほか、介護サービスにおける「在宅・施設サービスや地域密着型サービスの充実」などを進めていくこととしています。

地域包括ケアシステムの 充実・強化に向けた基本目標

地域包括ケアシステムのさらなる充実を目指し、地域包括支援センターの機能強化を図るため、平成30年4月に新たに烏山地区に同センターの増設を行い、市民が相談しやすい体制にしました。

南那須地区・烏山地区ともに同センターを中心に、地域支援事業の充実や地域包括ケアの拡充を図るため、本計画の基本理念である「安心して暮らせる思いやりのまちづくり」の実現に向けて、高齢者福祉、介護保険事業の柱

として、次の4つの基本目標を掲げます。

●基本目標1

地域で安心して生活できる 安全・安心なまちづくり

▽在宅医療・介護の連携強化とサービスの充実：住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療と介護を同時に必要とする高齢者に対し、医療と介護関係者のネットワーク構築による切れ目のないサービス提供体制を確保するなど、在宅医療と介護の連携を強化します。また、在宅ケアが必要な人にも対応できる介護サービスの充実を図ります。

▽認知症支援の推進と地域の見守り体制の構築：認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続できるよう、医療と介護の連携や初期集中支援チームの



4月に開設した地域包括支援センターからすやま。
(南2-2-3、矢板コーポ101号室)

活動支援により、認知症高齢者を支援します。また、一人でも多くの市民が認知症に対して理解を示し、適切な対応が行えるよう地域における見守り体制を構築します。

▽自立を支える生活支援サービスの充実：高齢者の自立を総合的に支援し、介護保険給付サービスの補完的な役割を担うため、社会福祉協議会と連携しながら、様々な生活支援のサービスの充実、担い手の育成、地域の支え合い体制づくりを進めます。

▽権利擁護と虐待防止の推進：日常生活の判断能力が低下しても、地域で安心して自立した生活ができるよう、高齢者の権利擁護に取り組みます。また、家族介護者に向けた支援を充実させることにより、家族の負担軽減および虐待の未然防止を図るとともに、相談窓口などの周知により虐待の早期発見・早期解決に努めます。

▽住まいづくりの推進：生涯を通じて安定したゆとりある生活環境を確保するため、多様な居住形態への対応、自立した介護に配慮した多様な住まいの確保などの住環境の整備を推進します。また、空き家活用を含めた高齢者への低廉な住居確保策について検討を進めます。

▽災害支援体制の推進：一人暮らしの高齢者などが災害時に迅速な対応ができるよう、高齢者の安全確保のための地域での体制整備を推進します。

● 基本目標2 健康で生きがいのある 生活の支援

▽健康づくりの推進：健康寿命の延伸を目的に、保健活動、生活習慣病予防、健康づくりの環境整備を推進します。

▽介護予防等の推進：住み慣れた地域で、いつまでも元気に暮らせるよう介護予防の取り組みを推進します。

▽社会参加・生きがいづくりの推進：生涯を通じて生きがいを持って、いきいきとした暮らしができるよう、さまざまな社会参加の場の充実、活動を支援します。

● 基本目標3 利用者の視点に立った サービスの充実

▽在宅サービスの充実：住み慣れた自

宅で自分らしい生活を末永く確保するため、在宅での暮らしを支えるサービスを充実します。

▽地域密着型サービスの充実：身近な地域できめ細やかなサービスが受けられるよう、地域と密着したサービスを充実します。

▽施設サービスの充実：在宅での介護が難しい高齢者が介護保険施設に入居し、生活を支援するさまざまな介護を受けられるサービスを充実させます。

● 基本目標4 持続可能性のある 高齢者福祉の基盤づくり

▽給付適正化の推進：介護保険の持続可能な運営を図るため、介護給付の適正化を推進します。

▽福祉人材の育成・確保およびサービスの質の向上：年々高まる高齢者福祉

サービスおよび介護保険サービスのニーズに対応するため、サービス提供を担う福祉人材の育成・確保に努めます。また、サービスの質が低下しないよう、事業所に対して指導などの働きかけを行います。

▽関係部署・機関・市民との連携強化：本計画を着実に推進するため、福祉、医療、産業、建設など関連のある行政機関との連携を強化し、体制を構築します。

介護保険制度の 改正ポイント

平成30年は介護保険制度改正の年であり、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続可能性を確保することに配慮し、見直しを行っています。サービス利用者（一部の人）の負担割合の変更や新サービス創設など、皆さんに影響する部分もありますので概要をお知らせします。

自己負担額の見直し（3割負担の導入）

介護保険サービスの自己負担は、介護保険制度がスタートしてから原則1割でした。しかし、平成27年8月から現役世代の過度な負担を避けるとともに、高齢者世代間の負担の公平性を図るため、相対的に負担能力のある一定以上の所得のある人の負担が2割となりました。今改正の負担では、さらに2割負担の対象者のうち「特に所得の



地域で見守る体制づくりや、高齢者・認知症患者に対する接し方を学ぶ場を設けています（上：小地域見守り活動報告会／下：那須烏山市介護予防大会で認知症の例などを紹介する栃木県消費生活リーダー連絡協議会那須烏山支部による寸劇）。

表：65歳以上の介護保険料

所得段階・対象要件		基本割合	第7期 介護保険料 (円)	第6期 介護保険料 (円)	差額 (円)
第1段階	・生活保護を受けている人 ・世帯全員が市民税非課税で老齢福祉年金を受けている人 ・世帯全員が市民税非課税で、前年の課税年金収入額+合計所得金額が80万円以下の人	0.50 (0.45)	32,000 (28,800)	30,400 (27,300)	1,600 (1,500)
第2段階	・世帯全員が市民税非課税で、前年の課税年金収入額+合計所得金額が120万円以下の人	0.65	41,600	39,500	2,100
第3段階	・世帯全員が市民税非課税で、上記以外の人	0.75	48,000	45,500	2,500
第4段階	・世帯の誰かは市民税課税だが、本人は市民税非課税で、前年の課税年金収入額+合計所得金額が80万円以下の人	0.90	57,600	54,600	3,000
第5段階	・世帯の誰かに市民税が課税されているが、本人は市民税非課税の人で上記以外の人【基準額】	1.00	64,000	60,700	3,300
第6段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が120万円未満の人	1.20	76,800	72,800	4,000
第7段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上200万円未満の人	1.30	83,200	78,900	4,300
第8段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が200万円以上300万円未満の人	1.50	96,000	91,100	4,900
第9段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が300万円以上400万円未満の人	1.70	108,800	103,200	5,600
第10段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が400万円以上600万円未満の人	1.80	115,200	109,300	5,900
第11段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が600万円以上の人	1.90	121,600	115,300	6,300

※第1段階は、市議会3月定例会で条例改正し、公費による軽減措置を活用し、基本割合が0.50から0.45に引き下げられる見込みです。

高い層」の人が、世代間などの公平性を保ち介護保険制度を持続させていく観点から3割に引き上げられることとなります。(平成30年8月施行)

福祉用具貸与価格の見直し

福祉用具貸与については、同じ商品であっても貸与を行う業者によって価格に差があるのが実情です。これは、業者によって仕入れ価格や点検費用などが異なるために起こります。今回の改正では、こうした貸与価格の見直しを行い、利用者が適正な価格でサービスを受けられるようにします。(平成30年10月施行)

創設 新しい介護保険施設「介護医療院」の

要介護者の増加により、慢性的な医療・介護ニーズが増えることが今後懸念されます。このようなニーズに対応できる介護保険施設として、平成30年4月から「介護医療院」が創設されました。これは、長期にわたって療養するための医療と、日常生活を送るうえでの介護を一体的に受けることのできる施設となります。

新たに「共生型サービス」を位置づけ

平成30年4月から、介護保険と障がい福祉の両制度に新しく「共生型サービス」が位置づけられます。このサービスでは、高齢者と障がい児者が同一の事業所でサービスを受けやすくなります。

現行では、介護保険事業所が障がい

福祉サービスを提供する場合に、それぞれ指定基準を満たす必要がありました。そのため、障がい福祉サービスを利用してきた人が高齢になり、介護保険サービスに移行する際は、事業所を変更せざるを得ない場合もありましたが、このような事例の不便さを解消するサービスとして期待されます。

サービスを利用するためにまずは申請をしましょう！

介護サービスを新規で利用する場合は、健康福祉課(保健福祉センター内)で申請してください。65歳以上の第1号被保険者は、介護が必要であれば原因を問わず認定を受け、サービスを利用することができます。40歳以上65歳未満の第2号被保険者は、老化が原因とされる16の特定疾病により、介護や日常生活の支援が必要となった場合に、認定を受けることによりサービスを利用することができます。



市では、今後も高齢者のニーズなどを把握しながら、介護保険事業をはじめとする高齢者福祉の充実を図ります。地域の皆さんの健やかで安心した暮らしをお手伝いするための介護保険制度ですので、上手に利用して負担軽減に役立ててください。

詳しくは、健康福祉課 ☎0287-18817115まで問い合わせください。

サッカー

FCバジェルボ那須烏山

- ①火・木（午後6時30分～9時）、
土（午前9時～正午）
- ②烏山運動公園、愛宕台運動場、緑地運動公園 他
- ③090-4174-4323（平野）
- ④サッカーを楽しみ、みんなで那須烏山市を盛り上げましょう！



YUZUHA FCジュニア 境クラブ

- ①火・金（午後7時～9時）、
土（午後6時～8時30分）
- ②緑地運動公園、荒川体育館
- ③080-3025-0318（荒井）
- ④仲間や友達を大切にできるように取り組んでいます。

- ①火（午後6時30分～8時）、
土（午前9時～11時30分）
- ②興野体育館、境小学校校庭
- ③090-4455-6123（堀江）
- ④1年生～6年生みんなで楽しくサッカーをやっています。

FC BoaSorte

- ①水・金（午後7時～9時）
- ②緑地運動公園、七合体育館
- ③090-3478-2656（青柳）
- ④関わるすべての人に感謝の気持ちを忘れない選手育成が目標です。

剣道

烏山剣道

- ①月・金（午後6時30分～8時）
- ②烏山武道館
- ③080-1254-6078（小森）
- ④「明るく・楽しく・元気よく」剣道を始めてみませんか？



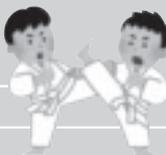
宏倫剣道

- ①火・木（午後7時～8時）、土（午後6時～8時）
- ②那須烏山市武道館
- ③0287-88-2972（菊池）
- ④剣道の仲間たちと楽しく稽古をしています。まずは見学に来てください。

空手道

白聖会空手道

- ①水・土（午後6時30分～8時30分）
- ②烏山武道館
- ③090-4014-8370（田中）
- ④空手の稽古を通して、礼儀作法や心身の鍛錬の習得に努めます。



南那須空手道

- ①月・水・金（午後7時～9時）
- ②那須烏山市武道館
- ③080-4408-0862（峰岸）
- ④人に優しく、自分には厳しく。努力は決して裏切りません。

市内で活動する スポーツ少年団を紹介します！

- ①活動日
- ②活動場所
- ③連絡先
- ④各団体からの一言

軟式野球

七合ファイターズ

- ①水（午後4時30分～6時）、金（午後6時30分～9時）、
祝祭日（午前8時～正午）
- ②七合小学校他小学校校庭、緑地運動公園
- ③090-5777-9196（高野）
- ④初めての子も参加しています。男女、地域は問いません。団員
一同お待ちしております。



那須烏山クラブ

- ①月・水・金（午後6時30分～9時）、土・日（午前8時30分～
正午）
- ②烏山運動公園、烏山小学校校庭
- ③090-2738-2949（両方）
- ④市内の小学1年生～5年生を対象に団員を募集しています。興
味のある方はぜひ見学に来てください。男女は問いません。

ミニバスケットボール

烏山 LITTLE DIPPERS

- ①火・金（午後6時30分～8時45分）
- ②烏山小学校体育館
- ③090-1458-5266（前沢）
- ④女子は烏山小・境小、男子は南那須全域の小学
生が活動しています。団員募集中です！



七合スピリッツ

- ①月・木（午後6時45分～8時45分）、水（午後3時～5
時45分）、日（午前9時～正午）※水曜日は男子のみ
- ②七合小学校体育館
- ③090-4923-7432（大輪）
- ④初めてでも安心して参加できます。男子部員も募集中！

南那須ETOWAL

- ①水・木（午後7時～9時）、土（午前9時～正午）
- ②江川小学校体育館、荒川小学校体育館
- ③090-4017-7715（滝口）
- ④興味のある方はぜひ見学に来てください。団員一
同お待ちしております！

柔道

南那須柔道

- ①火・金（午後7時15分～8時45分）
- ②那須烏山市武道館
- ③090-1810-1458（赤野）
- ④柔道で強い体と心、「勇気・思いやり・感謝」の気持ちを身につ
けましょう。



17人の新市議決定！ 投票率は63.97%

那須烏山市議会議員選挙 投票結果

投票結果

区分	当日有権者数(人)	投票者数(人)	棄権者数(人)	投票率(%)
男	11,470	7,227	4,243	63.01%
女	11,679	7,582	4,097	64.92%
計	23,149	14,809	8,340	63.97%

開票結果

当選人	候補者名	得票数(票)	当選人	候補者名	得票数(票)
当	矢板きよえ	1,360	当	しぶい由放	721
当	久保居光一郎	1,168	当	そうま正典	696
当	ぬまた邦彦	1,044	当	荒井こうじ	687
当	青木としひさ	1,002	当	福田ながひろ	621
当	田島しんじ	983	当	興野一美	617
当	中山五男	875	当	小堀道和	508
当	ほりえ清一	826	当	滝口たかし	482
当	村上しんいち	774		滝田とみお	408
当	平塚ひでのり	750		ひやま隆四郎	375
当	高田えつお	740			



荒井浩二 (35)
野上・無所属



高田悦男 (69)
田野倉・無所属



堀江清一 (59)
三箇・無所属



青木敏久 (54)
谷浅見・無所属



矢板清枝 (58)
下川井・公明党



福田長弘 (51)
中央2丁目・無所属



渋井由放 (62)
南1丁目・無所属



村上進一 (60)
野上・無所属



田島信二 (73)
谷浅見・無所属



久保居光一郎 (69)
大金・無所属



興野一美 (61)
興野・無所属



相馬正典 (62)
金井2丁目・無所属



平塚英教 (63)
小木須・日本共産党



中山五男 (81)
東原・無所属



沼田邦彦 (46)
旭1丁目・無所属

新市議の顔ぶれ

任期満了に伴う那須烏山市議会議員選挙が、4月22日(日)に執行されました。今回から定員が17人となった本市の市議会議員。19人(うち現職12、新人7人)が立候補し、開票の結果、現職11人、新人6人が当選しました。

投票率は63・97%と前回(平成26年)の市議会議員選挙の投票率67・23%を3・26ポイント下回る結果となりました。また、投票者のうち期日前投票所の利用者の割合は43・70%でした。投票結果及び開票結果は右のとおりです。



小堀道和 (68)
小河原・無所属



滝口貴史 (44)
志鳥・無所属



地域の安全安心を守る 市消防団の消防自動車や消防詰所を更新しました

市では、地域の安全安心を守るため、計画的に市消防団の老朽化した消防自動車を更新しています。

平成29年度に更新したのは、第4分団第4部(谷浅見)と第8分団第3部(曲畑)の2台で、どちら

も更新前の旧車両は購入からおおむね20年以上経過していました。

また、平成29年度は第2分団第3部(向田・落合)の消防詰所の移転・新築も行いました。これは、従来の消防詰所が、国が平成28年に公表した那珂川の新たな洪水浸水想定区域内に位置したため、新たな詰所は、旧向田小学校敷地内に建設されました。

新しい消防車両・消防詰所は3月24日(土)にそれぞれの分団部に引き渡されました。

引き渡しを受けた団員らは、車両の操作方法や資機材の配置場所などを、有事に備え真剣に確認していました。



引き渡しを受ける団員ら。



新築された第2分団第3部の消防詰所。

企業と市の新採用職員が河川を清掃

4月5日(木)、(株)オリエントコーポレーション(東京都千代田区)の新採用社員94人と市新採用職員13人が那珂川(宮原、野上)で河川清掃を行いました。同社は、昨年から大金グランドホテルを会場に新採用社員研修を開催していることから、社会貢献活動の一環として、市に貢献できる活動をしたいと相談があり実現したものです。1時間程度の活動で収集したゴミはトラック1台分にもなり、参加者は、ゴミの多さに驚いていました。



那珂川の河川敷を清掃する新採用の社員と市職員。



上から、信号待ちのドライバーに啓発チラシを配る川俣市長、吉村警察署長、那須ブラーゼンの選手/南那須庁舎を出発する自転車キャラバン隊/安全運転サポート車を体験する参加者。

春の交通安全県民総ぐるみ運動 多彩な啓発イベントで交通事故防止

春の交通安全県民総ぐるみ運動が、4月6日(金)から15日(日)までの10日間で行われ、交通事故防止に関するイベントが開かれました。

特別街頭指導 自転車キャラバン隊出発式

初日となった6日(金)、山中入口交差点で特別街頭指導が行われ、川俣純子市長や吉村孝那須烏山警察署長をはじめ、交通安全協会や安全運転管理者協議会の会員らが信号待ちをするドライバーに啓発チラシなど約300部を配布しました。また、プロ自転車ロードレースチーム「那須ブラーゼン」から、下島将輝選手、西尾勇人選手、岩井航太ゼネラルマネージャーも参加し、事故防止を呼び

かけました。

その後、南那須庁舎入口で自転車キャラバン隊の出発式が行われました。このキャラバン隊は、交番や駐在所のある那須烏山警察署管内6地域にあるスーパーマーケットやゲートボール場などを自転車で巡回し、自転車利用者や高齢者に事件事故の未然防止を呼び掛ける組織です。

出発式では、那須ブラーゼンの下島選手が1日隊長、西尾選手が副隊長に任命され、警察署員2人とともに出発しました。

安全運転サポート車体験

9日(月)には、烏山自動車学校で、自動ブレーキなど先進技術を備える「安全サポート車」の試乗体験

会などが行われ、市内の高齢者約20人が参加しました。

参加者は、県警交通企画課や栃木トヨタ(株)から、県内の交通事故の現状や安全サポート車の性能などについて説明を受けました。また、実際に乗車し、ペダル踏み間違い時のサポートブレーキ機能を確認したほか、日本自動車連盟(JAF)の協力により用意された「シートベルト衝突模擬体験車」を使い、時速5キロで衝突した際の衝撃なども体感しました。

川上精二さん(旭1丁目)は、「様々な体験をとおして、改めて事故は怖いと思った。わき見やシートベルトの着用には気を付けたい」と話していました。

戦没者追悼式で平和願う

1561柱の英霊を追悼

日清・日露戦争から第二次世界大戦までの戦火で尊い命を失った戦没者を追悼する「戦没者追悼式」が南那須、烏山の両地区で開かれ、303人が平和を願い白菊を献花しました。

4月13日(金)には、南那須地区戦没者追悼式執行委員会(鈴木定男委員長)による追悼式が南那須公民館で開かれ、598柱の英霊に献花しました。翌14日(土)には、烏

山彰徳会(小森和昌会長)による追悼式が烏山体育館で開かれ、963柱の英霊を追悼しました。

追悼式では、黙とうや主催者の式辞に続いて、川俣純子市長が「英霊の尊い犠牲によって培われた教訓を肝に銘じ、住民の生活と福祉の向上を目指し、限りなく発展する郷土建設のために、力を注ぎたい。今日は、謹んで戦没者各位の尊霊がとこしえに安らかなることをお祈り申し上げます」と追悼の言葉を述べました。



英霊に白菊を献花する参列者。

鈴木委員長は、「今こうして平和で恵まれた幸せな生活を営み続けられるのは、尊い戦没者の皆様の礎があったことを忘れてはならないと心に誓いたい」と式辞を述べました。また、小森会長も「1日も早くこの世から争いをなくし、真の平和を求め、努力すべきところが、我々に課せられた責務だと考える」と式辞を述べました。

市指定天然記念物

藤冠森の藤の木 (藤田)



藤冠森の藤の木は、地元で親しまれてきた名藤です。南大和久から喜連川に向かう県道熊田喜連川線沿いにあり、樹高約15m、枝張り東西19m、南北18m、推定樹齢300年といわれています。

藤冠森は所有者の古屋敷で、家神正一位稲荷大明神(一名、白玉稲荷)が祀られています。その縁起は、祖先又次郎(俗名藤次郎)が藤冠と号したことによります。このフジはエノキ、ミズキ、シラカシ、ヤブツバキなどの繁茂する藤冠森の中央付近にあり、樹冠を広く覆い、開花期には、まさに藤冠を戴く森のようで薄紫に彩られます。

市庁舎整備等検討委員会 庁舎の現状や今後の方向性を検討



庁舎の在り方や現状が話し合われた検討委員会。

学識者ら12人で組織する市庁舎整備等検討委員会(委員長・三橋伸夫宇都宮大学名誉教授)の2回目となる会議が3月26日(月)、市役所烏山庁舎で開かれました。

この日は、川俣純子市長の就任後最初の会議となったほか、初めて傍聴人を募集するなど市民に開かれた委員会となりました。

当日は、市の担当者が庁内できとめた庁舎整備基本構想の素案を基に、烏山、南那須両庁舎の老朽化や耐震不足の現状、分庁方式のデメリットなどを説明しました。

また、今後、両庁舎の耐震化や新庁舎を建設した場合の概算事業費などについても説明しました。

委員からは、「新たな場所に庁舎を建て替えるのが望ましい」「財政状況が厳しい中で、新庁舎整備の優先順位は低い」などの意見が出ました。また、川俣純子市長は、「皆さんからの意見や提言をいただき、できるだけ早めに本庁舎への移行を図りたい」と述べました。

市では、答申に基づき、年度内に基本構想を策定する予定です。

イノシシの被害を最小限に… 鳥獣被害対策実施隊に 47人を任命



鳥獣被害対策実施隊に任命された皆さん。

近年、イノシシの出没数や被害が増加していることから、迅速かつ効果的に捕獲・駆除するため、「鳥獣被害対策実施隊員」が結成されました。

4月6日(金)には、市役所南那須庁舎で辞令交付式が行われ、川俣純子市長から、隊員となる猟友会の会員47人を代表して各班の班長5人と隊長となる農政課長が辞令を受けました。

この実施隊は、市町が作成する被害防止計画に基づき、イノシシの捕獲、侵入防止柵の設置などを行う組織です。これまで、市民の依頼を受けてから市職員が現場を確認し、猟友会に依頼をしていたため、対応まで時間を要しましたが、実施隊ができたことにより、

川俣市長は、「イノシシの被害は本市でも深刻な状況であり、対処することが喫緊の課題となっている。農業の振興と発展のため、健康・安全に留意して活動にあたってほしい」と期待を寄せました。

隊員が直接市民を訪問・面談すること、より迅速に対応することが可能となりました。県内での実施隊設置は9番目。任期は4月から翌年3月末までの1年間です。

市内でイノシシの被害に悩んだり、水路などで横たわっていたりするイノシシを見かけたら、農政課農林整備グループ ☎0287-88-7117までご連絡ください。

「とちぎDC」「まちなか観光の推進」テーマに多彩な催しスタート！

山あげ会館再オープン記念 なすからフェスタを開催

JRグループ6社と地域が共同で取り組む国内最大規模の観光企画「栃木デザインেশョン・キャンペーン(DC)」が、4月1日から始まりました。県内各地でDCにちなんだイベントが6月にかけて開催され、本市でも、「まちなか観光の推進」をテーマに、改修した山あげ会館の再オープンなど様々な特別企画を展開しています。

特に、ユネスコ無形文化遺産となった「烏山の山あげ行事」や、「烏山城築城600年」、「那須烏山ジオパーク構想」といった地域資源を効果的に活用した様々な取り組みを実施し、観光客に対するおもてなしを充実させることで地域のにぎわい創出などを図ります。山あげ会館は、昨年9月から休止し、ペレット式空調設備の整備

や照明の発光ダイオード(LED)化、内装補修を実施しました。4月1日(日)に再オープンし、28日(土)には、記念イベント「なすからフェスタ」(山あげ会館再オープンイベント実行委員会主催)が開催されました。

記念イベントでは、DCにちなんで、烏山山あげ保存会芸能部会による子ども歌舞伎舞踊の上演や金井町によるお囃子はやしの演奏、烏山城築城600年を記念した特別企画展や講演会、御朱印巡りなど多彩な催しが企画されました。また、「山あげ祭の裏側見せます！」と題し、山あげ烏章館で泉町若衆によつて進められている祭り準備の見学なども行われ、約1500人の観光客や地域住民でにぎわいました。

- ① 山あげ会館再オープンを記念したテーブルカード
- ② 烏山城築城600年記念カードを配布する川俣市長
- ③ 会場をにぎわせた金井町によるお囃子の演奏
- ④ 親子に大人気のミニアキムによる子供演奏
- ⑤ 野州八咫烏の会中村彰太郎会長による子供歌舞伎舞踊
- ⑦ 大勢の人でにぎわった出店特設広場で開かれたディンプルアート体験。



東日本大震災の発生以降、本市への観光客は減少しています。こうした現状からの転換に向け、市では、平成30年3月に市観光振興ビジョン(第3期計画)を策定し、地域資源と市民力を最大限に活用した「新たなスタイルの観光・交

とちぎDC 本市開催イベント情報

■烏山城築城600年記念「特別企画展」

○4月下旬～10月、山あげ会館2階多目的展示室

烏山城発掘調査での出土品や市有形文化財となっている「寛政の町絵図」、そして、八咫鳥やたがトリに関連する作品など烏山城にちなんだ展示が行われています。企画展の内容は、必要に応じて随時追加・変更していく予定です。



■烏山城築城600年記念「なすからすやま おもてなし企画」

○1月～12月、市内全域



烏山城築城600年を記念し、おもてなし企画を行う市内の店舗などを紹介するガイドブック「なすからすやま おもてなし手帖」を発行しました。ガイドブックを提示することで、市内のレストランやそば店、菓子店などでもおもてなし企画に関するサービスを受けることができます。

■市内御朱印巡り

○4月～、市内社寺

御朱印の記載が可能な市内13社寺を一覧表にしました。また、本市に縁のある八咫鳥や烏山の山あげ行事の演目の登場人物のキャラクター、「烏山城」の文字などが表紙に入った3色の御朱印帳も製作し山あげ会館で販売しています。



■山あげ祭の裏側見せます！

○Part1...4月～6月、Part2...7月8日(日)、山あげ烏章館

今年の山あげ祭は 7月27日(金)～29日(日)。

7月27日(金)から29日(日)まで開催される「山あげ祭」に向け、山あげ烏章館を会場に、今年の当番町「泉町」の若衆らによって祭りの準備が着々と進められています。

12月から舞台背景となる「はりか山」の骨組みとなる竹を切り出す作業を始めた同町。2月下旬からは、前回当番だった6年前に使っていたはりか山の絵をはがし、3月中旬からは、今年のはりか山作りが始まりました。

祭り本番に向けて 泉町若衆が準備を進めています!!

平日の夜間や休日を使い、同町の若衆や住民らによって、竹で作った網代と呼ばれる骨組みに、那須烏山市産の烏山和紙を貼る作業が連日行われています。また、4月中旬からは、和紙を貼り終えたはりか山から山水などの絵を描き入れる作業が、同町(中央3丁目)の横山亘さんによって始まっています。

烏山の山あげ行事が、ユネスコ無形文化遺産に登録されてから2年目の開催となる同祭。祭本番に若衆を

仕切る木頭きだての菊池卓也さんは、「準備は順調。若衆が一丸となって祭り当日を迎えたい」と意気込みを語りました。また、筆頭世話人の菊池祐一さんは、「踊りはもちろんだが、舞台裏で木頭の指示のもと若衆が山を上げたり、物語の流れに合わせて山の切り替えしなどをしたりしている姿もぜひ見てほしい」と話していました。

今後は、舞台装置などの準備を進め、7月8日(日)にはりハーサルを予定しています。



はりか山に和紙を貼る作業を進める泉町若衆。



流のまち」を目指しています。

しかし、山あげ会館の機能強化、中心市街地の活性化、観光客に配慮した二次交通網の充実、そして観光をけん引する推進体制の強化など、多くの課題を抱えています。一方、築城600年を迎える烏山城の活用推進に期待が高まっています。

記念イベントは、こうした課題の解決に向けた取り組みの一環として開催されたものです。「新たなスタイルの観光・交流のまち」の実現に向け、新たな第一歩を踏み出したところです。

Part1では、山あげ祭の当番町が行う「はりか山」の和紙貼りなどの見学・体験ができます。体験希望者は、商工観光課 ☎0287-83-1115 まで申し込みください。

Part2では、本番に向けた山あげのリハーサルを行います。山あげ舞台装置を細部まで見学できるのはこの日だけです。

■まちなか観光ネットワーク ○4月5順次

ジオパーク散策コース、烏山城跡散策コース、近代化遺産散策コース、御朱印巡りコース、映画ロケ地コース、秋の紅葉コースなど、様々なまちなか観光コースを設定し、パンフレットを作る計画です。また、「まちなか観光サイト」を再構築し、Googleマップなどと連動したナビゲーション機能を追加し順次運用することとしています。



キッズランドあさひ



ゆうゆうランド那須烏山園



烏山聖マリア幼稚園



七合保育園



烏山みどり幼稚園



江川小学校



つくし幼稚園

入学・入園

おめでとうございます

4月に入り、市内の小・中学校で一斉に入学式が行われました。10日(火)には、中学校2校で193人(南那須中77人、烏山中116人)、11日(水)には、小学校5校で156人(江川小17人、荒川小40人、境小15人、烏山小62人、七合小22人)の新入生たちが夢と希望を胸に学校の校門をくぐりました。また、幼稚園や保育園でも入園式が行われました。いくつかの入学・入園の様子を写真で紹介します。



南那須中学校



烏山中学校



七合小学校



境小学校

シリーズ 在宅医療のあれこれ Part 1

誰でも高齢者になると、思わぬケガをしたり、病気になる可能性があります。その時、住み慣れた自宅で療養生活を送ることも選択肢の一つです。自宅で医療・介護を受けながら療養生活を送ることを「在宅療養」と言います。

平成29年度より、市では南那須医師会の協力のもと那珂川町と「南那須地区在宅医療介護連携事業」を協働で進めています。今月号から1年間「在宅医療」に携わる医療・介護の関係者から様々な情報をお届けします。

今回は、那須南歯科医師会から「訪問歯科診療」のご案内です。

訪問歯科診療のご案内

市内在住で病気や障がいなどにより、自宅で療養している人や施設に入所中、病院に入院中の人で、右の図のようなお口の悩みや症状を抱えていませんか？

まずは、かかりつけ歯科医にご相談ください。かかりつけ歯科医がない、分からないという人は、「とちぎ在宅歯科医療連携室」にご連絡ください。自宅や施設で生活している人の歯科相談窓口です。高齢や病気で通院困難な人の自宅に訪問して歯科治療を行う歯科医院を紹介いたします。病院や介護施設からの相談も受け付けています。

■とちぎ在宅歯科医療連携室 ☎・fax 028-648-0750

宇都宮市の沢2-2-5 とちぎ歯の健康センター内
受付時間：月曜日～金曜日 午前10時～午後4時

※不在の場合は折り返し連絡します。当日の連絡が困難な場合もありますので、ご了承ください。



—訪問歯科診療とは—

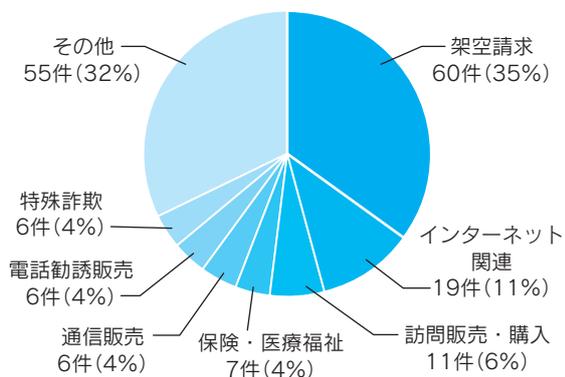
「訪問歯科診療」とは、自宅療養中の方や施設に入所中の方、病院に入院中の方など、歯科医院に通院できずに困っている方を対象に、歯科医師や歯科衛生士が自宅や施設・病院等に訪問して治療やケアを行うことをいいます。

那須南歯科医師会

消費者コラム⑭ 消費者ほっとらいナビ

平成29年度に市消費生活センターで受け付けた相談件数は170件となり、前年度の相談件数127件と比べると43件（33.9%）増加しました。

平成29年度相談受付状況（相談件数170件）



相談内容としては、「スマートフォンや携帯電話に、利用した覚えのないサイト利用料を請求するメールが届いた」「“総合消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ”と書かれたハガキが届いたが、心当たりがない」などの「架空請求」が大幅に増加し、全体の35%を占めています。次いで、光回線やプロバイダの勧誘・契約、アダ

ト・出会い系サイトに関する「インターネット関連」の相談や、「突然来訪した業者に安価なのでシロアリ駆除を依頼したところ、床下がカビだらけですぐに工事が必要だと言われ高額な工事契約をしてしまった」などの「訪問販売・購入」に関する相談も依然として多くあります。

【消費者の皆さんへのアドバイス】

- ①見知らぬ人からの電話や訪問には十分注意する！
- ②断るときは、曖昧な返事はせずに「いいません」「必要ありません」とはっきり言う！
- ③覚えのない請求には応じず、絶対に連絡しない！
- ④すぐに契約せず、家族や身近な人とよく相談する！
- ⑤おかしいな…不安だな…と思ったら、すぐに消費生活センターへ相談を！

那須烏山市消費生活センター（烏山庁舎1階、商工観光課内）

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン ☎188（局番なし）」へご相談ください。

荒川南部土地改良区 21世紀土地改良区創造運動表彰で大賞

荒川南部土地改良区（久郷 浩理事長）が、3月26日（月）、東京都千代田区のシーエンバツハ・サポーで開催された「21世紀



大賞を受賞した荒川南部土地改良区。

土地改良区創造運動表彰」で最高賞の大賞を受賞しました。

平成29年度は全国で3改良区が大賞を受賞。県内では15年度に那須野が原土地改良区の受賞以来14年ぶり2回目の受賞となりました。

同土地改良区の活動としては、市と防災協定を結ぶ東京都豊島区との都市農村交流事業や、猿久保田んぼ公園周辺でのホテル観察会、休耕地などを活用したひまわりの植栽など、地域の人々と協力し合いながら、地域の環境整備や保全活動に取り組

んでいます。特に、豊島区との交流事業では、カヌーや釣り、川遊び、山寺での座禅体験など都会ではできないような体験が家族連れに好評で、毎年定員を上回る応募があるほど人気なイベントとなっています。

久郷理事長は、「これからも良い環境を次世代につなぐことができるように地域の皆さんと協力して活動したい。また、子どもたちに田植えや生き物調査をとおして自然と触れ合う体験を提供したい」と今後の抱負を語りました。

街に賑わいを興す会 着物で烏山城址とさくら散策

街に賑わいを興す会（小川二三雄会長）による「築城600年祭着物で街めぐり」が、4月8日（日）に開かれ、市内外から訪れた人々や市内在住の外国人など56人が着物での市内散策を楽しみました。

当日は、八溝県民休養公園や南那須図書館近くを通るウォーキングトレイル、清水川せせらぎ公園を散策しました。桜はほとんどが葉桜となっていました

が、参加者らの色とりどりの着物がイベントに花を添えました。

また、築城600年を迎えた烏山城ゆかりの地である寿亀山神社や三の丸を訪れ、烏山語りの会による民話「蛇姫様」などに耳を傾けました。寿亀山神社では、年に1度、例大祭時に一般公開される市指定有形文化財「大久保常春公木像」が特別に公開され、参加者は本市の歴史と文化に触れました。



八溝県民休養公園を散策する一行。

第2回 ツール・ド・とちぎ 市内を自転車が駆け抜けました！

今年で2回目の開催となった県内全域を舞台とする自転車ロードレースの国際大会「ツール・ド・とちぎ」が、3月23日（金）25日（日）の3日間の日程で開かれました。

最終日の那須町〜真岡市間の約147キロの第3ステージは、本市を通過するコースとなっており、国内外15チーム、90人の選手が那須烏山路を駆け抜けました。応援に訪れた地域住民は、風を切って走る選手に大きな声援を送りました。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112



声援の中、市内を走り抜ける選手。

烏山山あげ保存会芸能部会 浅草こども歌舞伎に出演

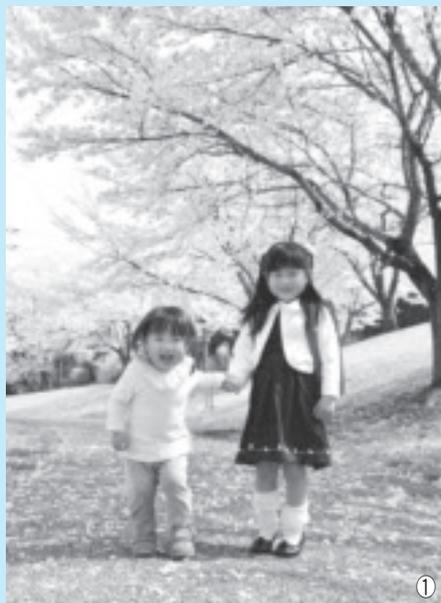
3月24日(土)、東京都の浅草神社で開催された「第10回浅草こども歌舞伎まつり」に、烏山山あげ保存会芸能部会の子どもたち18人が出演しました。

この催しは、歌舞伎文化をテーマにしたまちづくりを進めている東京都台東区の「奥山おまいりまち商店街振興組合」が主催したものです。

今年で8回目の出演となる山あげ保存会は、舞台衣裳を身にまとい、奥山おまいりまち商店街を練り歩いて上演告知などを口上し、浅草神社神楽殿を舞台に2回、「烏山道中記蛇姫様」を大勢の観衆の前に上演しました。会場からは、完成度の高い演技に賞賛の声が上がりました。



歌舞伎を披露する烏山山あげ保存会芸能部会の子どもたち。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

春うらら♪

今年も桜の便りが届きました！

3月下旬から4月上旬にかけて、市内では桜の見ごろを迎えました。今年は、暖かな陽気が続き、例年よりも1～2週間早い開花となりました。

満開の桜の中、市内各地の花見スポットでは、花見客やカメラマンたちでにぎわいました。その様子を写真で紹介します。



⑧

①②清水川せせらぎ公園③八雲神社④南那須図書館付近⑤龍門の滝
⑥ウォーキングトレイル(小河原)⑦大金台入口⑧八溝県民休養公園。

おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者)住 所
 大須賀 春 汰(達也・美子)南1丁目
 角田 恵 人(朝春・梨紗)東 原
 本多 結 陽(陽一・未希)中央1丁目
 矢野 祐 靖(祐大・綾)小木須
 芝 沼 かなで(由樹・優唯)志 鳥
 須 藤 菜重夢(浩司・智美)鴻野山
 平 山 一 成(壮士・隼美)南大和久
 小口 真 凛(良一・温子)興 野
 小口 大 空(和則・真美)興 野
 ※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●第13回(通算45回)市民スキー祭

(3月18日(日)、台鞍山スキー場)

【小学生の部】▽優勝：安田知暉 ▽準優勝：長嶋千夏 ▽第3位：大鐘寛士
 【女子の部】▽優勝：長嶋夏乃 ▽準優勝：大鐘圭子 【男子の部】▽優勝：大町真之 ▽準優勝：松本智史 【成年の



境小入学式より。

部】▽優勝：大竹文雄 【タイムレースの部】▽優勝：長嶋心夏 ▽準優勝：大町虎ノ介 ▽第3位：大鐘菜月

ふるさと応援寄附金

恵英二郎様(東京都板橋区、半澤和也様(兵庫県明石市)から各1万円、高野和彦様(北海道札幌市)から10万円、匿名希望者様21人から計46万円が本市に寄附されました。

■市立図書館児童用図書購入費寄附金
 南那須地区工業者懇話会(塩田信吾会長)から4万7130円が寄附されました。

広報なすからすやま 全国広報コンクールで入選



平成30年全国広報コンクールの広報写真一枚写真部で、「広報なすからすやま」2017年3月号表紙が入選しました。各都道府県の審査を経て、一枚写真部は61点が全国審査へ。そのうち14点が特選などを含む入選を果たしました。合併後、那須烏山市となつてからの入選は初めてとなります。
 今後も、市民の皆さんに親しまれる広報紙づくりに努めてまいります。



江川小入学式より。

編集後記



○4月は良いニュースがありました。上の記事にも書きましたが、全国広報コンクールで入選しました！ここ数年、全国の審査止まりだったのでとても嬉しいです。
 ○それもこれも、写真の撮り方を教えてくれた上司や、取材先で出会った皆さんのおかげだと思っています！入選した写真も、モデルになつてくれた子どもたちの笑顔が単純に素敵だったから…、感謝しかありません！ありがとうございました😊
 ○でも、上には上がいるわけで、上位に入選している市町村の広報紙を見ると、レベルが高くてとても勉強になります。もちろん、賞を取るために広報紙を作っているわけではありませんが、今回の結果に満足せず、今度ももっと上位を狙っていききたいな…と思っています。
 ○そんなわけで、「これ取り上げてほしい！」といった情報や、イベントなどで「私たちのこと撮って！」という希望があれば、どんどん声をかけてください！良い広報紙を作るために、皆さんの力をぜひお貸しください。よろしくお願ひします！

Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

★一般図書★

『マンガでわかる成年後見制度』 中山 二基子
『宇宙兄弟「完璧なリーダー」は、もういない。』 長尾 彰
『週末15分そうじ術』 鈴木 美帆子
『40歳からのやせる食べ方』 足立 香代子
『シルバー川柳 宴たけなわ編』 みやぎシルバーネット
『わたし、定時で帰ります。』 朱野 帰子
『風は西から』 村山 由佳
『ふたりみち』 山本 幸久
★児童図書★
『救助犬エリーの物語』 W.ブルース キャメロン
『恐竜絶滅の謎を追え!』 古本 ゆうや
『こうじ菌』 北垣 浩志

『痛快!天才キッズ・ミッチー』 宗田 理
『さとやまさん』 工藤 直子
『どんなかおのかくれんぼ?』 酒井 賢司
『おべんとうしろくま』 柴田 ケイコ
『そらからぼふ〜ん』 高島 那生
『たぬきの花よめ道中』 最上 一平
★CD★
『WESTival』 ジャニーズWEST
『DINOSAUR』 B'z
『BEST』 三浦 大知
『GRAMMYノミネーズ2018』 ブルーノ・マーズほか
『フィフス・ハーモニー』 フィフス・ハーモニー
『ゴールデンヒット演歌決定盤!』 石川 さゆりほか
『クラシックで聴くヒット・ソング』 林 はるかほか

2018.4.1現在
()対前月比

人口 25,929(-124)

男 12,842 女 13,087

出生 10 死亡 41

転入 79 転出 172

世帯数 9,392

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

文芸コーナー★

俳句

水野 信一 選

遊ぶ子の水切り石や光る春

高徳 美井(大金)

幻の烏山城風光る

柳 つしま(中央)

啓蟄の思ひ出ひとつ産日

塩坂美枝子(南大和久)

花の雲臥しつつ見上げ居て愛し

三森 純子(中央)

川柳

篠崎 酔月 選

花一輪心を込めたプレゼント

小堀 翠泉(中央)

病葉の目立つ植木も歳となり

杉山幸栄子(八ヶ代)

大袈裟にせず内輪での祝い事

久郷 牛歩(高瀬)

安らかな眠りは母の腕の中

萩原 宣子(中央)

短歌

福澤 悦子 選

日めくりを一日一日剥ぐごとく花粉飛散の終り待ちおり

安藤 伯麗(旭)

病癒え達者に見えるも幾何の人生思えば先を

鈴木 豊(谷浅見)

陽光に白蓮の花輝きて開院記念半世紀なる

古内 晴代(金井)

ほころびし桜に激しき夜の雷雨独居の我は寝

川手 トヨ(金井)

つかれずおり

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

広告掲載募集中



市では、「広報お知らせ版」・「広報なすからすやま」・「市ホームページ」の有料広告を募集しています。

掲載基準等詳細は、市ホームページで確認するか、下記あて問い合わせください。

■総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112

安心な暮らしをサポート!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険:自動車・自賠責・火災・地震・使用者賠償

◇生命保険:新総合収入保障・新医療・ガン・年金

◆お問合せ 〒321-0526 那須烏山市田野倉383

TEL: 0287-88-9870

FAX: 0287-88-0234

シリーズ 烏山高校ってこんなところ！～地域連携活動編①～

今月号から、烏山高で行っている「地域連携活動」を紹介します！

Karasuyama English Camp

2月23日(金)から25日(日)にかけて、2泊3日の英語合宿「Karasuyama English Camp」を大田原ふれあいの丘で行いました。「本物の英語をより近くで安く！」という思いから、烏山高で昨年度初めて実施した行事です。

株式会社ジョイトークの協力で、「英語で烏山を紹介する」をテーマに、市を紹介するマップ作製など、外国人講師3人と楽しく英語を話しながら活動をしました。この合宿をきっかけに、留学を本格的に考える生徒もいたほど生徒たちは大きな刺激を受けたようです。

現在、グローバル化が急速に進み、大学入試も大きく改革され、英語の「聞く・話す力」が今まで以上に求められています。このイングリッシュキャンプをとおして、烏山高生徒の英語の学力向上だけでなく、異文化理解の一助になることを目標に今後もこの活動は続きます。



生徒の声 2年 菅間 遥花さん (向田)

イングリッシュキャンプで行ったゲームや烏山のPRに基づいた活動はとても親しみやすく、時間が経つにつれ自然と英語を使おうと意識するようになりました。また、ALTの先生と話すことで、もっと話したい、英語が楽しいと感じました。

英語学習が重要視されている今、私たちに必要なのは英語の楽しさを知ることです。そのためにもこのような機会を逃してはならないと思いました。

生徒の声 3年 水井 優太郎さん (野上)

イングリッシュキャンプには、自分の英語力でどのくらい会話ができるのかを試したかったため参加しました。しかし、初日は聞き取るだけで精一杯で、自分から講師に話しかけることはできませんでした。それでも英語だけで生活していくことで少しずつ慣れていき、3日目は会話弾むようになりました。

このキャンプで、言語を学ぶことで世界が広がるということに気付きました。とても良い経験になりました。



烏山城と地形(ジオ)との関連についてご紹介します。烏山城は喜連川丘陵の一支脈に築かれた山城です。城の東側には大きく蛇行する那珂川が流れ、反対の西側には同じく江川が流れています。そして南側は那珂川・江川・荒川の三河川が合流する氾濫原であり、北側は大小の谷が複雑に入り組む丘陵地帯と那珂川の蛇行によって形成された狭地となっています。周囲の地形が険しく、守りに有利なことを巧みに利用した要害の地を選んで建てられました。

那須烏山ジオパーク構想だより ⑬

～築城600年記念烏山城特集～

ており、地形をうまく活用してどの方角からも攻められにくい城を築いたと考えられます。

また、五城三郭と呼ばれる曲輪群の周囲には地形を巧みに利用した堅堀や横堀、堀切、土塁などが現存し、見どころの一つとなっています。

次回は、烏山城に関わるこの地に伝わる民話についてご紹介します。

安楽寺 護摩堂落慶法要 入場無料

2018年 日時 **5月18日(金) 16:00~19:00**

場所 **医王山宝生院 安楽寺** 駐車場: 無料10台(無料) 観音堂裏に隣接してあります。

〒321-0002 栃木県那須烏山市田野倉285 ☎0287-88-2072

フードコート 子供の日

有料広告